

英語科学習指導案

指導者 谷内 真紀子
ALT Robert Jones

- 1 日時 令和元年10月8日(火) 5校時
- 2 学級 1年4組 男子17名 女子14名 計31名 西校舎3階1年4組教室
- 3 主題 PROGRAM7 The Wonderful Ocean (Sunshine English Course 1)

4 主題について

本単元は、中学校学習指導要領外国語編の目標「(3) イ話すこと (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」を学習できると考える。

本文の題材としては、北海道釧路沖のシャチウォッチングに参加した由紀とマイクが、鯨類の調査・研究をしているガイドの笹森さんから説明を受けている場面が描かれている。獰猛なイメージのシャチが家族を大切にしていることや、イルカが豊かな海でのびのびと子育てをしている様子を通して、自然の素晴らしさ、大切さを感じ取ることができるように指導していきたい。

本時は、自分達の知っている人物を題材としたクイズの出題と人物について情報を得るための簡単な質疑応答のやり取りをする活動を行い、本単元で学習した言語材料の疑問詞 **who**、人称代名詞の目的格 **him** と **her** の用法を活用して復習する。これまで人称代名詞の主格、一般動詞の三人称単数現在形について学習してきたが、これらの既習事項を合わせて用いることで、関心のある事柄について伝え合うことができるようにすることを目指し、後に取り組む **My Project2** での人物紹介の活動につなげたいと考える。

本学級の生徒は学力差があり、英語やコミュニケーションに対する苦手意識を持つ生徒も少なくはない。ALT との **Team Teaching** での英語を使おうとする雰囲気作りや、普段生活や活動を共にしている班でのグループワーク、コミュニケーションに抵抗のないペア組みにより、英語を話すことに対する安心感をもたせたい。練習や話し合いの中で共に考えたりアドバイスし合ったりすることを通して、人物を紹介するときの表現や、答えとなる人物についての質問の仕方、質問への応じ方などについて、お互いに良い点を学び合う機会としたい。

5 本時の達成目標

他者について紹介する文を作ったり、その人物について簡単な質疑応答をしたりすることができる。

6 評価場面での生徒の口述例

【外国語表現の能力】

おおむね満足 B	十分満足 A
メモをもとに人物を紹介し、人物について簡単な質疑応答ができる。	メモをもとに人物を紹介し、質問されたことに対して自分の気持ちや考えを付け加えて対話をつなげることができる。
(例) A: This is a woman. She is from Osaka. She is very tall. Who is she? B: Does she play any sports? A: Yes, she does. She plays tennis well. B: I see. Is she Naomi Osaka? A: That's right. I like her very much.	

7 振り返りの場面での生徒の記述例

今まで学んだ表現を使って、クイズで人物を紹介したり、質問したりすることができた。質問や答えを考えるのは難しかったが、話し合いで質問のしかたや答え方が分かった。あまりすらすら言えなかったなので、もっと練習したい。

8 本時の展開

段階	学習内容	指導上の留意点 【評価の観点・方法】 ◆教材・教具等
導入 10分	1 ウォームアップを行う。 2 教師のモデルを見て、本時の活動内容を確認する。 3 学習課題を把握する。	1 既習事項を用いた対話表現の練習をする。 ◆すらすら英会話シート 2 教師が紹介する人が誰かを考えさせる。短い紹介文では十分な情報が得られず分からないことから、質問することの必要性に気づかせる。
展開 35分	<p style="text-align: center;">よく知っている人をクイズで出題し、人物についてたずねたり答えたりできるようにしよう。</p> <p>第1ステップ</p> 4 どんな質問をすれば、紹介された人物が誰なのかが分かるか考える。(個人) 【主体的】課題を解決するために必要な質問を考える。	4 自分なら相手にどんな質問をするか、既習事項をもとに質問の文を考える。 ◆ワークシート 5 グループで順番に1分30秒程度でクイズを出題する。答える側の生徒達は人物についての質問を一つ考えて尋ねる。 ◆人物紹介シート ・詳しい情報を得るための質問や応答の仕方について、クラス全体で共有する。 ◆ワークシート
終末 5分	<p>ラストステップ</p> 6 (1) グループ以外の生徒とペアを組み、自分が考えたクイズを出題して対話をする(ペア)。 (2) 代表生徒にクイズを出題させ、質問をしながら人物が誰かを考える(全体)。 7 本時の学習活動を振り返る(個人)。 8 宿題を提示する。	6 ステップ2で確認したことを生かして、別の相手と対話する。 ◆人物紹介シート 6 【外国語表現の能力】 メモをもとに人物を紹介し、人物についての簡単な質疑応答ができる。 A: 人物を紹介し、質問されたことに対して自分の気持ちや考えを付け加えて対話をつなげることができる。 C: 質問や答え方の例文をいくつか提示し、その中から選んで質問したり答えさせたりする。

9 指導と評価の計画

1 年 英語	単元名 PROGRAM7 The Wonderful Ocean	総時間 8 時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の目標
<p>(3) 話すこと [やり取り]</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>知識・技能</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>エ 文、文構造及び文法事項</p> <p>(ア) 文</p> <p>b 疑問文のうち、助動詞で始まるものや or を含むもの、疑問詞で始まるもの。</p> <p>(ウ) 文法事項</p> <p>a 代名詞</p> <p>(a) 人称や指示、疑問、数量を表すもの</p>		<p>・メモをもとに人物を紹介し、人物についての簡単な質疑応答ができる。</p> <p>[表現の能力]</p> <p>・ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、間違いを恐れずに話そうとする。</p> <p>[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p> <p>・疑問詞 who, when や人称代名詞の目的格の意味と用法を理解し、それらを使って質問したり応答したりできる。</p> <p>[言語や文化に関する知識・理解]</p> <p>・本文の内容を聞いたり読んだりして、その内容を理解し、海洋生物の生態や海洋環境に興味を持つ。</p> <p>[理解の能力]</p>
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)
1	<p>○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。</p> <p>○疑問詞 who を用いた疑問文と応答文の構造を理解する。</p> <p>・人物の名前について対話する。</p>	<p>who を用いて、人物の名前についてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>[言語・文化に関する知識・理解]</p>
2	<p>○教科書本文を読み、由紀とマイクの対話から、笹森さんのシャチウォッチングの説明の様子について読み取る。</p> <p>・内容にあった表現ですらすら読めるように音読練習をする。</p>	<p>内容が伝わるように、正しいイントネーションや強勢、区切りを用いて音読できる。</p> <p>[理解の能力]</p>
3	<p>○人称代名詞の目的格 him, her を用いた文の構造を理解する。</p> <p>・有名人や物語の登場人物などについて、知っているか、好きかどうかについて対話する。</p>	<p>人称代名詞を用いて、その人物を知っているか、好きかどうかについてたずねることができる。</p> <p>[言語・文化に関する知識・理解]</p>
4	<p>○教科書本文を読み、シャチの生態について読み取る。</p> <p>・内容にあった表現ですらすら読めるように音読練習をする。</p>	<p>内容が伝わるように、正しいイントネーションや強勢、区切りを用いて音読できる。</p> <p>[理解の能力]</p>
5	<p>○疑問詞 when を用いた疑問文とその応答文の構造を理解する。</p> <p>・普段の生活について、いつ何をするのか対話をする。</p>	<p>疑問詞 when を用いて、普段の生活について、いつ何をするのかたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>[言語・文化に関する知識・理解]</p>
6	<p>○教科書本文を読み、イルカの生態について読み取る。</p> <p>・内容にあった表現ですらすら読めるように音読練習をする。</p>	<p>内容が伝わるように、正しいイントネーションや強勢、区切りを用いて音読できる。</p> <p>[理解の能力]</p>
7	<p>○よく知っている人物について、紹介したい内容を考え、クイズのためのメモを作成する。</p>	<p>自分が紹介したい人物について、紹介したい内容を考えてメモを作成することができる。</p> <p>[表現の能力]</p>
8 (本時)	<p>○よく知っている人物についてクイズ形式で紹介し、人物について簡単に質疑応答をしながら対話をする。</p>	<p>メモをもとに人物を紹介し、人物についての簡単な質疑応答ができる。</p> <p>[表現の能力]</p> <p>ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、間違いを恐れずに話そうとする。</p> <p>[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p>

